

つま恋

終演

読売 番外編 ①

28.12.22

ポップコン 音楽人生の原点

中島みゆきさんや世良公則さんら、多くの若手アーティストが出演したポピュラーソングコンテスト（ポップコン）。「つま恋」で行われた本選会でグランプリを受賞した田広志さんと岡村孝子さんが、つま恋への思いを語った。

憧れの聖地に感激

田広志さん 63

（1978年、第16回ポップコンに出演。「夢想花」でグランプリを受賞）



地区予選を通過して、ポップコン本選会出場が決まった時は本当にうれしかった。「あのつま恋に行けるんや」と。好きだった吉田拓郎さんが歌ったつま恋

は、憧れの聖地だった。音楽で食べていこうとしていた身としては、「ここまで来れば、もうええかな」と思えるほどだった。家族や親族が、（出身地の）高知と大阪から貸し切りバスで静岡まで応援に来てくれた。ポップコンのように、色々なレコード会社がスカウトに来る機会はないから、この曲を売り込んだら、って思った。グランプリ受賞後、記者会見があり、翌日の新聞に載った。関西中心に活動していたので、「全国に名をとどろかせたんやなあ」と実感した。

つま恋は空気がええし、何とも言えんぜいたく感があつた。音楽を通じてみんなが楽しむことができる場所だった。年代を問わずに、音楽で盛り上がる時代だった。



「待つわ」で再挑戦

岡村孝子さん 54

（82年、第23回ポップコンに女子大生デュオ「あみん」で出演。「待つわ」でグランプリ受賞）

シンガー・ソングライターになるには、ポップコンが

た。（営業終了は）一つの時代の終わりを感ずるね。スタートした場所。そうい

う意味ではさみしさが大きい。挫折や成功した時、立ち止まって自分の原点を考える時があるでしょ？僕はポップコンを思い返す。普段は思い出さないけど、しっかりと自分の原点にある。

プロへの登竜門だった。大学で最初に友達になった加藤晴子さんを「ポップコンに挑戦したいんだけど一緒にやってみない」と誘って、「あみん」を組みました。

大学1年の時、「琥珀色の想い出」という曲で、ポップコンの中部北陸大会まで

進んだけど、入賞もできなかった。つま恋を目指していたが「甘いもんじゃないな」と思った。どうしてもプロになりたいくて、「待つわ」で再挑戦しました。

若い時の詞は、何も分らないから書けるというか。かゆい所をかきむしるような書き方だった。「若気の至り」じゃないけど、怖がるのがなかったのかも。しれない。

「待つわ」は、中部北陸大会で入賞どまり。本来なら、つま恋での本選会には進めなかったけど、推薦という形で救ってもらい、つま恋に行けることになった。本選会の数日前からつま恋に泊まり、リハーサルやレセプションがあつて楽しかった。登竜門だけとお祭りのような感じで、みんな楽しんでいた。つま恋は自分にとって、原点。

（営業終了は）さみしいですね。

「選手たちが目標にしている大会。今後もこれまで通りに開催できるよつ、この事業を引き継ぐ企業が現れてくれたら」。ヤマハリゾートつま恋（掛川市満水）の年内での一般営業終了が発表されてから半月後の9月中旬、全国各地の選手が集まって行われた「つま恋カップアーチェリー大会」で、全日本アーチェリー連盟の幹部は祈るように話した。

聖地の存続 求める声

つま恋営業終了へ



とつてもまた、同じように聖地だった。宿泊施設やミ―ティングルームなどを兼川インターチェンジに近い

交通利便性で支持された。乗馬の国際大会からアーチェリーの全国大会、マラソン、サッカー、テニスといった競技の市民レベルのイベント、合宿まで、つま恋で汗を流し、思い出をつくった人は多い。それだけに、営業終了の衝撃は大きかった。

波紋は2019年のラグビーワールドカップや20年東京五輪・パラリンピックの事前キャンプ誘致にも広がっている。市はつま恋のブランド力を生かして世界的なビッグイベントの波及

25日に一般営業を終了するヤマハリゾートつま恋＝9月、掛川市満水（本社ヘリ「ジェリコ1号」から）

△メモ▽つま恋は25日で一般営業を終了した後も2017年3月末まで一部の団体向け宿泊などを受け入れる。ヤマハは跡地の売却交渉を進めていて、掛川市は現在の形態での運営の継続や名称の存続を要望している。

効果を取り込み、地域活性化につなげる構想を描いていたが、冷や水を浴びせられた格好となった。

松井三郎掛川市長はキャンプ誘致の旗を下ろしていないが、新たな運営主体が決まり、跡地の将来像が見えるまでは具体的な活動ができないのも実情。熱を帯びる自治体間の誘致合戦に出遅れた感否めず、市の関係者は「今の時点で動くことができないのは痛い」と危機感をあらわにする。

これからも県内外から人を呼び込むスポーツ拠点として機能が維持されるのか。その行方に気をもむ地元や競技関係者の声の中でつま恋は25日、42年の歴史の区切りを迎える。

（掛川支局・関本豪）